

「大野城市人権教育・啓発基本指針」に基づく実施計画(第2次)平成30年度進捗状況報告書  
 審議会意見文案以外の進捗状況報告書(案)についての意見一覧

	分野	事業名	担当課	審議会委員提出意見	意見への対応方針	ページ
あらゆる場における人権教育・啓発の推進	就学前教育	① 豊かな心を育てる保育活動の推進	保育所	「30年度実績 実施内容」について、「行ったりした」を「行った」に表記を変更する。	意見のとおり、修正して記載します。	3
	学校教育	① 自尊感情を育む教育の推進	教育指導室	「30年度実績についての評価」の欄の判定について、「こどもたちの『いのち』を守る研修会」は大変好評だったという事、道徳公開授業も多数の参加があったという事は、評価(B)とするのではなく(A)としてよいのではないかと。計画通り実施できただけで参加者が少なかったような時には、(B)判定とすることでいいと思う。これは以降の事業についても同様の評価でいいのでは？	意見のとおり、修正して記載します。	5
	家庭教育	② パンフレット等資料の配布による啓発の推進	人権男女共同参画課	「30年度実績 実施内容」について、「御笠の森小学校」を「月の浦小学校」に表記を変更する。	意見のとおり、修正して記載します。	9
	地域	② 講演会等の参加促進に向けた取組みの推進	人権男女共同参画課	「30年度実績についての評価」について、「しか集まらなかった」を「に止まった」に表記を変更する。	意見のとおり、修正して記載します。	11～12
人権教育・啓発の総合的かつ効果的な推進	教育・啓発活動の推進	③ 意識調査の実施	人権男女共同参画課	「30年度実績についての評価」の欄の判定が(D)となっているが、5年毎の実施の場合の未実施年評価は、(一)が適当ではないか。	意見のとおり、修正して記載します。	19
	人材の育成と活用の充実	③ 職員の研修体制の充実	総務課	「30年度実績 実施内容」について、講師の名前の後に、「氏」は不要ではないか。	意見のとおり、修正して記載します。	22
分野別施策	同和問題	① 市民を対象とした講演会・研修会等の開催	人権男女共同参画課	①「30年度実績 実施内容」の欄に「講師を招聘して」とあるが、講師に「招聘」という言葉は適切ではないと思う。招聘＝礼を厚くして招く事 ②「30年度実績 実施内容」の「指導者」と、「30年度実績担当課題」の「啓発推進員」の違いは何か。	①「招聘」という言葉に誤りはないものとするため、表記はそのままとする。 ②意味合いは同じであるが、「指導者としての人材育成」を「指導的役割を担う人材の育成」と表記を変更する。	29～30
		④ 企業・事業所を対象とする研修会の開催・支援	人権男女共同参画課	「30年度実績 実施内容」のそれぞれの研修会の参加人数は何人か。	それぞれの参加人数を「30年度実績 実施内容」に記載します。	33～34
		⑤ 職員に対する研修の充実	人権男女共同参画課	「31年度取り組み」について、「考えたり、自分を見つめ直したりすることのできる」を「考え、自分を見つめ直すことのできる」に表記を変更する。	意見のとおり、修正して記載します。	35～36

	分野	事業名	担当課	審議会委員提出意見	意見への対応方針	ページ		
分野別施策	女性に関する問題	② 子どもたちへの男女平等教育の実施	保育所	「30年度実績 実施内容」では、「男女平等意識」となっているが、「31年度取り組み」では「男女共同意識」となっている。表現を変えた理由はあるか。	特にありません。どちらも「男女共同参画意識」と記載を修正します。	38～39		
			教育指導室					
			人権男女共同参画課					
		③ 女性への暴力の根絶に向けた研修会の開催	人権男女共同参画課	①「30年度実績」について、中学校デートDV防止研修の「研修」と「講座」の表記統一。 ②「30年度実績 担当課課題」について、「女性の人権の中でも、DVIについては喫緊の課題の一つと考えられるため」を「DVIについては、男女を問わず、また児童虐待にもつながる重要な人権課題であるため」に表記を変更する。 ③デートDV講座は、何年生が対象なのか。			①「中学校デートDV防止研修」と表記を統一します。 ②「30年度実績 担当課課題」について、表記を修正します。 ③デートDV防止研修は、中学2年生が対象です。	
	④ 男女共同参画や女性の人権に関する情報の発信				人権男女共同参画課	「30年度実績 実施内容」について、「男女平等推進センター主催事業の情報発信 手段」の改行位置の修正。		意見のとおり、修正して記載します。
	子どもに関する問題	① 思いやりや生命尊重の気持ちを育む教育の推進	保育所	「30年度実績 実施内容」について、「工夫を凝らした公開をすることができた」を「工夫を凝らした授業を公開することができた」に表記を変更する。	意見のとおり、修正して記載します。	46～47		
			教育指導室					
		③ いじめ等の防止のための取り組みの推進	教育指導室	・教育サポートセンターはどこにあるのですか？	大野城市役所の5階にあります。	50		
		④ 教職員や保育士等を対象とした研修の充実	保育所	「31年度取り組み」について、「市保育区所連盟」を「市保育所連盟」に表記を変更する。	意見のとおり、修正して記載します。	51		
			教育指導室					
	⑤ 保護者等を対象とした講演会や研修会の実施	こども未来課 教育振興課 教育指導室 こども健康課 人権男女共同参画課	「30年度実績 担当課課題」について、「PTA会委員全体」を「PTA会員全体」に表記を変更する。	意見のとおり、修正して記載します。	52～55			
	高齢者に関する問題	① 市民を対象とした講演会・研修会等の開催	長寿支援課	①「30年度実績 実施内容」について、シニアクラブ主催講演会の演題を記載してほしい。 ②認知症サポーター養成講座の総受講者数は、何人ですか？（オレンジリングの総配布）	①②意見について、担当課に確認し追記します。	56～57		
	人権男女共同参画課							
	障がい者に関する問題	① 市民を対象とした講演会・研修会等の開催	福祉課	「30年度実績 実施内容」について、「深められるような」を「深められるような」に表記を変更する。	意見のとおり、修正して記載します。	64～65		
			こども健康課					
人権男女共同参画課								
② 障がいへの理解を深めるための教育の推進		教育指導室	「30年度実績 実施内容」について、「普通学級」を「普通学級」に表記を変更する。	意見のとおり、修正して記載します。	66			
③ 障がいのある人の社会参加と交流活動の開催	福祉課	「30年度実績 担当課課題」について、「全て事業」を「全ての事業」に表記を変更する。	意見のとおり、修正して記載します。	67～68				
④ 障がい者に対する差別解消のための取り組みの推進	福祉課	「内容」について、「市民から相談」を「市民からの相談」に表記を変更する。	進捗状況報告書作成の基となっている、実施計画の策定にあたり、協議のうえ記載をしているため、今回の進捗状況報告書作成時の変更は困難であります。修正については次期の計画見直し時に検討します。	69				

	分野	事業名	担当課	審議会委員提出意見	意見への対応方針	ページ
分野別施策	障がい者に関する問題	⑤ 障がい者虐待防止のための取り組みの推進	福祉課	①「30年度実績 担当課課題」について、「支援センターの設置」を「支援センターを設置」に表記を変更する。 ②「30年度実績についての評価」について、「目標とおり」を「目標どおり」に表記を変更する。	①②意見のとおり、修正して記載します。	70
	その他の人権問題	① 市民を対象とした講演会・研修会等の開催	人権男女共同参画課	「30年度実績についての評価」について、「人数しか参加がなかったため」を「講座が6回中2回あったため」に表記を変更する。	この項目では、その他の人権問題についての記載のみとしているため、「人権をまなぶ講座」全体に対する評価ではなく、「人権をまなぶ講座(第3回)」のみの評価としている。そのため、表記はそのままにしたいと考える。	81
		③ 県や関係団体等と連携・協力した取り組みの推進	人権男女共同参画課 すこやか長寿課	「福岡県～講演会」以外の福岡県、県などの表記統一。	意見のとおり、修正して記載します。	84～85
参考資料		参考3	男女平等推進センター	「アスカララおでかけ教室」について、「コカリナ」を「オカリナ」に表記を変更する。	「コカリナ」という名称で正しいため、表記はそのままにします。	